



【中国産さくらんぼ産地状況②】

丸松物産株式会社

5月号で弊社の仕入業者から入手した産地状況をご報告致しましたが、6月下旬から弊社貿易部員を産地に派遣して、生産状況を調査しましたので、ご報告致します。5月以降も大きな天候被害を受ける事は無く、多くの実を着けましたが、生育期間に雨が少なかった為、小粒が多いとの事です。収穫は、以前なら2~3週間程掛かりましたが、日本の缶詰需要が減り、近年は10日程で終わるとの事です。収穫量は、**Sサイズが約10%、Mサイズが約5%の増産ですが、Lサイズは約15%減産**しました。缶詰で使用する原料はMサイズとLサイズで、Sサイズは使用しません。今年も、Mサイズの原料は僅かに増産していますが、資材費が値上がりしており、製品価格は、昨年並みに落ち着くと思われます。

さくらんぼ栽培風景



【大連元初食品有限公司(スーパーマーケット)視察】

中国の厦門、大連を中心に34店舗を営むスーパーマーケットに弊社製品の売り込みも兼ね訪問し、店舗内を視察しました。

会社の経営方針は、消費者に天然で無添加の食材や食品を提供する事を考えており、店内に販売している商品は、健康志向で品質の良い商品を揃えていました。店内の商品も綺麗に陳列しており、通路も広々としていて、高級感を与える作りになっていました。お客のターゲットは、健康志向の強いサラリーマンや富裕層に力を入れているとの事です。中国の中流、上流階級は品質を重視する傾向にある事を実感しました。



【中国就活コストはいくら】

新卒向けの求人サイト「応届生求職網」は先ごろ、「大卒者就活費用調査報告書」を発表した。同報告書によると、2017年度卒業予定者の平均就活期間は3ヶ月で、平均就活費用は2600元(1元は約16.3円)に上る。平均月給は4000元以上と広州日報が伝えた。

「服装関連費用は平均1300-1500元」

社会人になることを示すため、面接用のスーツを揃える人が多い。卒業予定者の服装関連費用は平均1300元で、春・秋用が中心。また男子の平均費用は女子を200元ほど上回る。

所在都市内の面接の場合、地下鉄と路線バスが依然として主要な移動手段となっている。シェア自転車の流行により、卒業予定者の17.7%がシェア自転車での移動を選択。タクシーもしくは配車サービスは22.69%。毎回の平均交通費は10元となっている。「ちなみに、中国では7月が卒業時期にあたり、就職活動は5月頃から始めるとの事です」

「人民網日本語版」2017年6月27日より一部抜粋

【新商品情報】

「国産 和風春雨」



規格: 1kg × 10入り
賞味期限: 製造日より6ヶ月
春雨・昆布・えのき・人参は国産原料を使用しており、味付は砂糖、醸造酢等を使用して、さっぱりした味に仕上げています。小鉢料理や弁当の付け合せでご使用頂けます。

「辛味 春雨」



規格1kg × 10入り
賞味期限: 製造日より6ヶ月
国産春雨を使用して粒状大豆たん白、にんじん、たけのこ、きくらげを醤油、豆板醤、砂糖等の調味料を使用して、辛味がきいた味に仕上げています。お酒のおつまみやご飯のおかずにも最適です。

使用上の注意: 賞味期限は、未開封の状態を基準としています。保存料は使用していませんので、開封後はお早めにお召し上がり下さい。